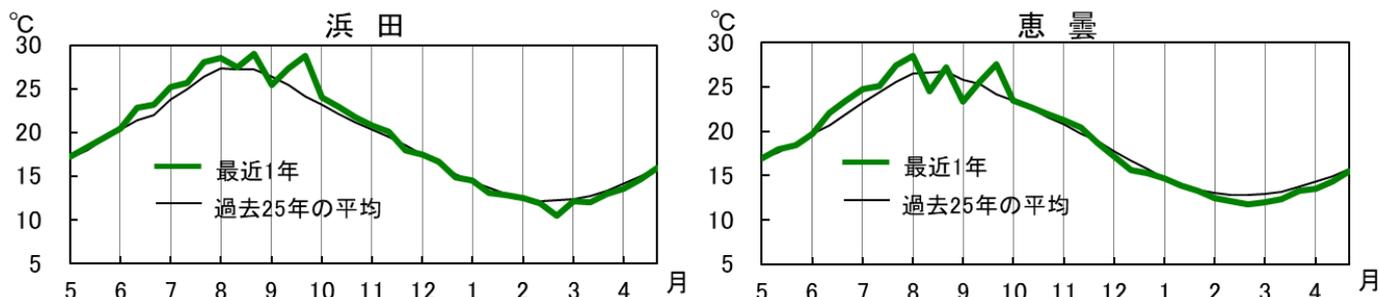




## 《4月の海況》



4月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや低め	14.8℃	-0.3℃	やや低め	14.5℃	-0.5℃
中旬	平年並み			やや低め		
下旬	平年並み			平年並み		



## 《4月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマイワシ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の5.7倍、サバ類は平年の2割、マアジの漁獲はありませんでした。隠岐地区でもマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は92.4トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは9,575トンで平年の1.4倍、サバ類は860トンで平年の5割でした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカが主体で1隻1航海当りの漁獲量は109kgとなり平年の4割でした。西郷地区(属人5トン以上)でもスルメイカが主体で1隻1航海当りの漁獲量は33.6kgとなり平年の6割でした。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではカワハギ類(ウマヅラハギ)、キダイ、マダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は12.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カワハギ類(ウマヅラハギ)は平年の5.7倍、キダイは平年の1.0倍、マダイは平年の4.4倍でした。その他、マアジは平年の1.5倍と好調でしたが、ケンサキイカ、スルメイカは平年の8割、アンコウ類は平年の7割、マトウダイは平年の6割、アナゴ・ハモ類は平年の5割、アカムツは平年の4割の水揚げでした。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、ニギス、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は131トンでした。1統1航海当りの漁獲量は665kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の4割、ニギスは平年の1.3倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.2倍でした。その他、マフグは平年の2.9倍、ヤナギムシガレイは平年の1.1倍と好調でしたが、アカムツは平年の8割、アンコウ類およびムシガレイは平年の6割、キダイは平年の3割、ヒレグロは平年の2割でした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は58.0トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシが平年の3.4倍でした。石見地区ではサバ類、ブリ、マイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は30.7トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年の278倍、ブリ類が1.3倍、マイワシが35倍でした。隠岐地区ではブリ、マフグ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は25.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の3割、マフグは平年の970倍、サバ類は平年の26倍でした。

### 【釣り・縄】

出雲地区ではブリ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は36.2kgと、平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の8割、ヒラマサは平年の2.0倍でした。石見地区ではヒラマサ、カサゴ・メバル類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26.6kgと平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の2.4倍、カサゴ・メバル類は平年の1.1倍、ブリは平年の8割でした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は29.5kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.1倍、カサゴ・メバル類は平年の9割でした。

## 【令和7年4月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ	10,437トン	78%	109%	92.4トン	104%	113%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	1.0トン	24%	7%	109 kg	66%	38%
	西郷	スルメイカ	0.2トン	255%	8%	33.6 kg	204%	55%
沖合 底びき網	浜田	カワハギ類(ウマヅラハギ)、キダイ、 マダイ	257トン	112%	97%	12.2トン	96%	85%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ニギス、アナゴ・ハモ類	131トン	47%	57%	665 kg	91%	90%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ	755トン	168%	185%	58.0トン	168%	185%
	石見	サバ類、ブリ、マイワシ	123トン	137%	304%	30.7トン	103%	247%
	隠岐	ブリ、マフグ、サバ類	77.7トン	42%	80%	25.9トン	42%	80%
釣り・縄	出雲	ブリ、ヒラマサ	33.4トン	75%	99%	36.2 kg	129%	116%
	石見	ヒラマサ、カサゴ・メバル類、ブリ	18.8トン	72%	94%	26.6 kg	127%	126%
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類	17.5トン	54%	87%	29.5 kg	119%	118%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ